



クラブ ファンタジーだより

No. 20 1994・4



ごあいさつ



会長 岡田 晴美

現代の騒がしい世界の中で、オアシスのような雰囲気の神戸女学院は、私達の心から永遠に消え去ることのない大切な母校でございます。この深い緑に包まれた幸せが、今、西宮市によって一部取り除かれることになるかも知れません。外壁の防災工事をしてくださることを条件に、正門を入ってすぐ左（日本庭園上部）の尾根を幅、八十センチ上下を最大五、六センチ取り、その外側は西宮市が住宅地にするというものです。自然保護が叫ばれている現在、こういうことが実行されないよう、何とか私達の

力で中止出来ないものかと心を痛めております。

さて、クラブファンタジーだよりも、御執筆頂きました先生方の御好意と、役員の皆様の骨身惜しまぬ御奉仕により二十号をお届け出来ますことを心から感謝致しております。

会員の力で設定致しました「クラブファンタジー賞」は下段で説明させて頂きます。卒業後、一層研鑽を重ねてのソロ・リサイタルにはクラブファンタジーからお祝いをすることに決定し、また国内、国外から講師を招いて音楽学部で催されます公開レッスン、公開講座には、会員中の希望者に、その都度、お知らせすることに致しました。

また、昨年から実施しました推薦入学制度は、受験生が程度の高い厳しい条件の課題をクリアーし、質の高い学生が入学致しました。今後とも皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

クラブファンタジー賞

設定された一九九二年度は、音楽学部教授会に委嘱し、ハンナ・ギューリック・スエヒロ賞と同じく、実技の優秀な学生に授与したが、諸問題を検討の結果、ハンナ・ギューリック・スエヒロ賞を踏襲せず、一九九三年度より総合成績最優秀の学生に対して卒業時、授与することに決定した。

一九九二年度受賞者
植野 洋美（作曲）



一九九三年度受賞者
徳丸 理恵（ヴァイオリン）



クラブファンタジー賞の
受賞に思う
III 徳丸 理恵

不安と期待に胸をふくらませて神戸女学院大学に入學し、早四年が過ぎ、卒業の時を迎えることになりました。本当に楽しい四年間で、色々な方々とも友達になり、大きなものを手に入れることができました。

そして、ついに卒業演奏の日を迎え、女学院生活の締めくくりに、自分では納得のいく演奏ができた満足していました。そこに今度の受賞の知らせを聞いたのです。「えーっ、まさか」信じられませんでした。これも御指導下さった諸先生方のお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。

これほどうれしいことはありません。ありがたうございました。この度の受賞に恥じないよう、これから頑張ります。

クラブファンタジーの皆様、こんにちは!!

私が学部長を仰せつかって、はや一年経ちました。

この間、皆様方にご挨拶を申し上げる機会がないままに時間が過ぎ去って参りましたが、今回、この紙面をお借りして、やっとそれが叶えられますことを、厚く御礼申し上げます。

皆様もご存知のように、学生数の減少に伴って、今や大学は冬の時代に入り、その上にこの不況の影響で、大学経営面では国立大の笑顔、私大の苦い顔という構図になっています。

私達の音楽学部は皆様方のお支えもあって、今のところ入試受験者数に特に大きな減少は見られませんが、それがいつまでも続くとは限らず、数の減少が質の低下に繋がる危険性を考えて、

(1) 専攻実技の優秀な学生を確保する。
(2) 学生にとってより興味深い科目を、より積極的に履修できるように、カリキュラム改革を進める。

(3) 学生が日頃の勉強成果を披露するための公開演奏の機会を増やす。

(4) 授業内容や学部内の問題点などについて学生にアンケート調査を行い、でき得る限り対処していく。

以上、既にもう実行に移しているもの、未だ計画途中で具体的には動き出せていないものなど色々ですが、これらを一応の対応策として考えています。

先ず、(1)については、93年11月22日、24日まで、音楽学部としては初めて推薦入試を実施致しました。専攻科目別の受験者数と合格者数については一覧表をご覧ください。大きくして、この推薦入試の特徴は、学生の数を確保する以上に主専攻科目の質の確保を目的と致しましたので、課題曲は内容・量と

音楽学部の今日

もに受験生にとって厳しいものとなったことと、今ひとつは、「専攻実技には自信があるが、女学院の入試

らに出演。86年8月に帰国し、同年10月より本音楽学部助教として着任。帰国後も多くのオペラやコンサートに活動を繰り広げているが、特に90年11月、日本人としては初めて「トリスタンとイゾルデ」の大役を歌い、その功績により、ジローオペラ賞を受賞。昨年12月、第1回兵庫県芸術奨励賞受賞。本年10月にはロリン・マゼール指揮、出演が予定されている。



音楽学科長 若本明志

わかもと あけし
音楽学部教授・学科長

声楽実技、オペラ歌唱法(専攻科目)担当。
神戸市出身。県立芦屋高校を経て東京芸大音楽科に学ぶ。在学中に第39回毎日コンクール(現日本音楽コンクール)声楽部門第1位入賞。同年、海外派遣コンクール特別賞受賞。71年~79年までイタリアに留学。79年~86年、旧西独ライン歌劇場と専属契約を結び数多く

英語がむずかし過ぎる……」として、他大学を受験、進学する方も多いと聞きますので、推薦入試科目から英

語を削除したところにあります。

また、推薦入試導入は音楽学部として初めての経験で、受験者数の予測が立たなかったところから、応募資格を現役生に限ったのですが、この応募資格も含め、今後いろいろな面から観察、検討を重ねて行かねばならないでしょう。

(2)のカリキュラム改革は文部省の「大学設置基準改訂」を受けて、現在、全学を挙げて取り組んでいる問題です。音楽学部について申しますと、この改革が音楽学部をより活発な魅力の

ある学部として行く上で、柱となる問題であるとの認識から、早くから専門委員会を設置し、また何度も別教授会で討議を重ねて、すでに音楽専門科目については案がまとまっています

が、全学的な一般教養科目の出来上がりとは歩調を合わせる必要から、今は足踏み状態です。ともあれ、私達の専門科目についての改革案の骨子としますのは、
○ なるだけ多くの科目を必修から選択へ移して、学生の履修選択肢を増やす。
○ 科目によっては先修科目を設定するが、履修年次制限をゆるめる。但し単位取得判定については、以前より厳しくして、学生の勉学への集中性を求める。

○ 単位数の見直し。
○ いくつかの科目についてはセメスター制を取り入れ、年間に履修できる科目数を増やす。 etc.
つまり、学生にとっては教えられる授業から学びとる授業へ、自由さが増すかわりにより積極性を求めら

れる内容に変わって行くことになりす。

(3)の公開演奏の場を増やすことについてですが、現在の定演ではオーケストラや合唱などがプログラムの中心となっており、ソロやアンサンブルを中心とした演奏会を別の機会に催せればと考えています。言わず

追悼

ヴィクトリウス先生



59 横田 新子

音楽学部名誉教授のA・ヴィクトリウス先生が昨年七月六日、米国バークレー市の病院で96歳の生涯を終えられたのお知らせを

もがなですが、多くのお客様の前で演奏することによって初めて学びとれることは沢山ありますし、学生にその場を得るための懸命な努力や集中力を促すこと、また今以上に意欲を燃やしてレッスンに取り組んでもらうことなどを願っている訳です。二つの定演を合わ

せて演奏旅行をするというのは夢でしょうか？
(4)のアンケート調査のことですが、立場が変われば見方も変わるのが道理で、教職員が日頃見過ごしているようなことも学生にとつては大きな問題、ということもありましよう。そこで昨年の夏休み前に音楽学部

学生全員にアンケート調査を実施致しましたところ、色々な分野にわたって、沢山の建設的な意見が寄せられました。紙面の都合で詳しくはお伝えできませんが、科別教授会でも取り上げ、また部門ごとに協議を重ねて、学生の声が学部運営面にも反映するように致して

71 森 洋子

一年後帰任され再びご指導を受けることに。

受けました。
先生はベルリンでF・レイモンド、A・シュナーベル、L・クロイツァー各教授の下で研鑽を積まれ、特にクロイツァー教授のアシスタントをされていました。一九三六年、同教授来日に伴い先生も来日、当学院にお迎えする事になったようです。その後二十七年間はピアノ教授として学生の指導をされると同時にリサイタル、放送等にご活躍されました。当時、学生であった私共はヨーロッパ直輸入のピアノ音楽のレッスンを受

抱強く親切に、而も時には非常に厳しいお顔で叱られました。
(この時は独語)ました。私共は若くてあまりにも未熟でしたので、先生も大変なご苦労をなさったと申し訳ない気持です。今頃になってあの時のあのお言葉の意味が理解でき感謝で一杯です。今でもきびしい緊張のお顔と指から流れる美しいピアノシモのひびきは忘れる事ができません。

終戦後、世の中が一応平静になりかけた頃、本場の音楽をとの勧めで、愛猫テオと静かに質素にお暮らしの先生の門を叩いたのは一九四七年のことでした。窓外の六甲山と日本庭園の眺めがお気に入り、障子にリネンを張った一階和室に置かれたヤマグラウンドでの、片言の日本語、英語、怒るとドイツ語を交えたレッスンは、高校生の私には容易に意図が伝わらずさぞ歯がゆい思いをされたのでは。

小柄な体に長いブーツ、えんじのスカーフ、楽譜に書かれる独特の文字、時折低い声で歌いつつ、飛び上がる様な演奏、音楽を離れると優しく、お手製のキーキをご馳走になったこと等懐かしい思い出です。

度はまだまだ低く後れていましたので先生は英語で辛

先生はその生涯をピアノ教育に捧げられ、学生達一人一人の心にすばらしいピアノ音楽の魂を与えて下さいました。ご遺徳を偲び、私共も御跡を慕い歩み続けに行きたいと存じます。

私が入学した年の夏、お母様とピアノニストの妹様に再会のため休暇でニューヨークへ

三十年前バークレーのお宅を訪問、日本の品々が飾られた部屋のマホガニ色のヤマハピアノで室内楽の練習に余念ない様子に接したのが先生にお会いした最後でした。お世話になるだけなつて、何も出来なかつたことが心残りですが、お詫びも含めて心からご冥福をお祈り致します。

クラブファンタジーのタベ

1993年11月18日(木) 6:30 P.M. 宝塚ベガホール

昨年秋のクラブファンタジーのタベは十一月十八日(木)宝塚ベガホールで開催致しました。ピアノ、声楽、ヴァイオリンに今回初めてホルンの演奏もあつて、バラ



エテイに富んだ楽しいコンサートになりました。年々お客様も増え、会場にも活気がありました。今後、新しい企画を考えて発展させたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

第一部

第二部

- | | | | |
|--|----------------------------|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. ピアノ独奏
バラードNr.4 Op.52.....ショパン | 110 田中 規子 | 1. ピアノ独奏
ノクターンNr.4Op.15-1.....ショパン | 107 一瀬 美子 |
| 2. ホルン独奏
ホルン協奏曲第1番Op.11.....リヒャルト・シュトラウス | 109 細見由紀子
伴奏 108 藤 溪 優子 | 2. ソプラノ独唱
鱒、他.....シューベルト | 105 田中万由里
伴奏 101 氏田 敬子 |
| 3. ピアノ独奏
前奏曲第1集より
アナカプリの丘、他.....ドビュッシー | 106 土橋 都子 | 3. ヴァイオリン独奏
ソナタ.....ラヴェル | 108 織田 郁子
伴奏 108 島 敏子 |
| 喜びの島.....ドビュッシー | | 歌劇「ワリー」より
さようなら ふるさとの家よ.....カタラーニ | |

卒業に あたつて

111 濱田 章

夢と希望に胸を膨ませ、桜につつまれた岡田山の坂を登った四年前。月日の経つのは早いもので、そんな私達五十四名も卒業を迎えることになりました。

この美しい自然のもと、百十余年の歴史ある女学院において、一般教養を含めた豊かな教養に支えられた音楽を学ぶことができ、またキリスト教精神に基づいた学院の暖かい雰囲気の中、充実した学生生活を送ることができたことは、私達の喜びであり、誇りであります。これも先生方の温かい御指導のお陰、また先輩方、友人達に恵まれましたお陰と深く感謝しております。

これからの私達、各々の人生におきましても女学院で得た財産―無形の財産―を胸に、励んでいきたいと思っております。

御指導の程、どうぞ宜しくお願い致します。

追悼会のお知らせ

アンニ・ヴィクトリウス 先生が一九九三年七月六日亡くなられました。左記の通り追悼会を行います。

日時 五月十九日(木)

午後二時～三時

場所 同窓会館

門下生代表 横田 新子

クラブファンタジー

後援について

会員の皆様が演奏会を開催される場合、クラブファンタジーが後援をさせていただきます。ただいておりますが、そのつど必ず許可をお受けくださいますようお願いいたします。なおソロリサイタルに限りお祝いをさせていただきます。

ファンタジーコーラス

指揮 76 桑田 絲子

会費 月額千円

日時 毎月第2・第4金曜日

10時20分～12時

場所 甲東教会

(阪急甲東園東へ)

ハワイのキラキラ星

77 プリムローズ 裕子



海外便りとして何か書いてほしいと頼まれて、どんな話題が皆様に興味があるのかわかりませんが、仕事にうち込んで一生懸命ハワイで生きている私の生活を書きます。

一九六〇年に卒業してライオン先生のお世話でインディアナ大学に留学、ここでアメリカの人々から鈴木鎮一先生の才能教育の紹介を受け、それまで全く知らなかった才能教育というものを勉強し始めました。一九七〇年に初めて亡くなった夫ウィリアム・プリムローズ(ヴィオラの名手)と松本に鈴木先生を訪ね、人生の目が開かれた思いをしました。子どもの能力をのばす教育方法で、音楽家を育てるのではなく、どの子

も育つ、育て方一つという信念を持ってヴァイオリンで人間性を高める仕事をはじめて二十年余りになりました。インディアナで数年、オーストラリアで五年、ユタ州で十一年、ハワイに来て三年余り、教えた子供達は総数何百人になりました。それぞれの土地では国民性、習慣や環境が違うため多少の違いはありますがどこに行っても子供の素晴らしさは同じです。でも環境や親次第で子供はどうにでもなってしまうという恐ろしさも悲しさも経験しました。オーストラリアで手掛けた子供達の中にはプロになっているのが意外と多く、今になって驚いています。ユタでは私の生徒は全員モルモン教徒で、親の熱意で面白いように生徒が育ってゆきました。



長があり本当に面白いです。ユタの教育熱心のあまり何かコセコセと張りつめた社会からハワイに来てはじめてびっくりしたのは、多くの生徒達がはだしてレッスンに来ることです。私は今ホノルルで一番大きいプナホウという幼稚園から高校三年までの私立学校で教えていますが、学校にはドレスコードがあるのに靴はオプショナルとなっていて大笑いしました。とにかくリサイタルの時は靴をはいて下さいねと言っておかないとムームーを着てハダシで来る可能性もあるのです。沢山の雨とふりそそぐ太陽とで植物が豊かに育ってゆくハワイは、人間もおおらかに

でジェネラスな人が多く、今まで人間との接触ばかりに費やして、ほとんど自然と過ごす時間がなかった私もすっかりハワイの気候風土になじみました。

主人の生前は仕事のかたわら妻としての勤めという責任を持った生活でしたが、それはその時で違った意味で掛けがえのない素晴らしい経験もしました。メニユーン、シゲッテイ、ミルシユタイン、ピアティゴルスキー、フルニエ等、大勢の演奏家と個人的に親しく接触する機会があったことです。三人の自分の子供達も巣立ち自由な身で、太陽の光いっぱいある太平洋のこの小さい島で未だに熱意と興味と愛情を持って、ハワイの子供達にキラキラ星を教えて楽しんでられる私、これこそ神様からいただいた大きなお恵みと思いたい感謝の気持ち一杯で、今日十一月二十五日、サンクスギヴィングデイにこれを書きました。

同窓会音楽教室からのお願い

同窓会では音楽学部卒業生を講師として教室を開いておりますがこの度講師希望者を公募し登録をさせていただくことになりました。講師に欠員があった場合その中から音楽教室委員会で選考して決めさせていただきます。今直ちに講師をお願いする訳でもいつからとはつきり日時をお約束するものでもありませんが、ご希望の方は左記の要領で必要書類を同窓会事務局にお届け下さい。(郵送可)

記

- (1) 職種 講師
- (2) 応募条件 本学音楽学部卒業生及び卒業見込の方(45歳まで) 専攻はピアノ、オルガン、チェンバロ、ヴァイオリン、フルート、声楽、ソルフエージュ
- (3) 講師給 通勤時間一時間(片道) 圏内で、週一、二回出られる方
- (4) 応募方法 音楽歴、職歴を含む自筆履歴書(写真貼付)
- (5) 申込期日 随時

94年度音楽学部教職員

音楽学部長 池田 洋子 教授
 学部長 若本 明志 教授
 学生主事 間学谷明子 助教
 田中 修二 助教

教授

飯田 正紀 (Co)
 池田 洋子 (P)
 猪本 隆 (Co)
 前中 明子 (P)
 岡田 晴美 (Vo)
 奥村 智美 (P)
 音川 紘一 (P)
 澤内 崇 (Co)
 山上 明美 (P)
 若本 明志 (Vo)

助教授

間学谷明子 (P)
 中村 健 (捨備、ケネディ)
 斎藤 言子 (Vo)
 立川 暢巳 (P)
 田中 修二 (P)

専任講師

橘 茂 (Vo)
 辻井 淳 (Vn)

客員教授

ジョセフ・ストーンベル (P)
 新任非常勤講師

橋本 玲子 (ソルフェージュ)
 木村 直弘 (音楽史)
 大倉 恭子 (ソルフェージュ)

事務職員

大野 和子 (和声)
 白石 知雄 (器楽史、音楽学)
 鈴木 順子 (Vn)
 河野 有宏
 坂井 紀子

退職

エルネスト・ウルマ (P)
 千原 英喜 (ソルフェージュ)
 三枝由美子 (P)
 津上 智実 (器楽史、音楽学)

おめでとうございます

若本明志教授
 兵庫県芸術奨励賞受賞
 (93年12月16日)

公開レッスン

94年4月25日(月)
 午後3時30分 於音楽館ホール
 マイスター教授(ピアノ)
 (ハノーファー音大教授)
 本年度より公開レッスンを聴講希望の方にはクラブファンタジーよりお知らせしますので4月末までに葉書で左記までお申し込み下さい。

85 苗村 紀子

音楽図書室の使用について

一九九四年度からの音楽図書室機械化に伴い、図書楽譜の貸出し(複写用も含む)はLibrary Cardを使って行われるようになります。カードは図書館新館で利用者登録をしていただき、約十五分で発行されます。その際ご自分の卒業回数(大M○○○回)が必要ですので、あらかじめご確認下さい。尚、この件についての詳細は音楽図書室にお問い合わせ下さい。0798(52)0645



出演の皆さん

関東支部だより

88 龍治 史子

93年度関東支部総会は、参加者六十余名で日暮里サニーホールに於て開催されました。第一部は例年のように美しい讃美歌が始まり、安見支部長の挨拶につづき、来年度から会計担当は当番学年が受け持つことになるという報告、承認がされました。長い間お世話下さいました武田姉に感謝いたします。第二部では、円熟した演奏、意欲的な作品発表などが披露され、楽しく豊かなひとときを過ごすことができました。

ができました。

94年度総会では、M46故増本喜美子姉のお嬢様で、作曲家増本伎共子桐朋学園大教授の講演及び同窓生の演奏会を予定しております。

日時 5月30日(月)

午後1時30分

場所 日暮里サニーホール
 88 龍治史子

88 假谷通子

本年より関東支部の活動に對して、僅かですがクラブファンタジーより協力することに致しました。

プログラム

1993.6.2. 日暮里サニーホール

- モーツァルト コンサートアリア Nr.6 K.505
 「私はあなたを失うのであろうか?
 ……もう決して恐れない、私のいとしい人よ」
 93 Vo 栗山 尚子
 93 P 足立 裕美
- サン＝サーンス 組曲「動物の謝肉祭」より
 序奏と獅子王の行進、らば、龜 他
 四手連弾
 89 P 中川 陽子
 96 P 桜井 智子
- 〈作品発表〉 栗山 尚子 作詞・作曲
 南十字星
 鏡の前のあなたに
 93 Vo 栗山 尚子
 93 P 足立 裕美
- ショパン ソナタ第3番 Op.58
 87 P 大川内玲子
- ドビュッシー
 妨げられしセレナーデ
 月光降り注ぐテラス
 花火
 66 P 安見 泰子

プログラム

- 新実徳英：女声合唱とピアノのための“花によせて”
- ヴラード：女声合唱のための“トランシルヴァニアの田園風景”
- サン＝サーンス：ピアノ協奏曲 第4番 ハ短調
作品44
- ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲
- ドヴォルザーク：交響曲 第8番 ト長調 作品88



1993年11月30日 大阪厚生年金会館

音楽学部定期演奏会

指揮

中村 健
辻井 淳

大森地塩

ピアノ 滝田純子

合唱・オーケストラ

音楽学部学生

定期演奏会は11月30日、

大阪厚生年金会館中ホール
において上記のプログラム
で行われた。

まず最初に大森地塩非常
勤講師による指揮で、新実
徳英作曲の女性合唱曲「花
によせて」を披露(一、二
回生)、次に中村健助教の

指揮によりローマン・ヴ
ラード作曲の合唱曲「トラ
ンシルヴァニアの田園風

景」が演奏された(三、四
回生)。この曲は変拍子で、
その上多調、無伴奏という
難曲であったが、学生も良

く歌っていたと思う。
次にハンナ・ギューリッ
ク・スエヒロ奨学金受賞者
(専攻科生) 滝田純子の独
奏によるサン＝サーンス作
曲「ピアノ協奏曲第4番」
は力強さと柔和さが見事に
調和されていた。

ひき続き本大学のオーケ

ストラではあまり演奏され
た事がないドビュッシーの
作品「牧神の午後への前奏
曲」がとりあげられ、フル
オーケストラにもかかわら
ず室内楽的で繊細な音の世
界が繰り広げられた。

最後のドヴォルザークの
「交響曲第8番」は辻井淳
専任講師の初指揮により、
個々の技量のレベルの上
がった学生達の演奏でプロ級
と思われる程素晴らしかつ
た。

今年度は'94年12月5日(月)
ザ・シンフォニーホールで
ヘンデルの「メサイヤ」を
演奏する予定です。
(音楽学部事務長 河野有宏)

年会費免除に
ついて

M51、52、53、54、55の皆
様方は、本年度より年会費
千円が免除となります。

春の新人演奏会

一九九三年度山回生54名による卒業演奏会は、三月七、八、九日の三日間、神戸女学院講堂にて、また専攻科の終了演奏会は三月一日宝塚ベガホールにて行われました。

本年度卒業生のうち選抜された方達による新人演奏会は、四月二十一日(木)午後六時半よりいずみホールにて、例年通りクラブファンタジー協賛で行われます。

出演者

(P) 深田麻実 濱田 章

早川朋美 石倉奈緒子

宮本尚子 中山ミドリ

小幡麻紀

(Vo) 森 牧子 野本慶子

(Vn) 山本絵理

(Fl) 前田綾子

(Tb) 南 桂子

(Com) 岡谷 香

クラス委員を通じて入場券をご依頼申し上げますので皆様よろしくご協力下さい。(入場料千円)

東京読売新人演奏会

(Fl) 前田綾子

5月5日(木)

東京文化会館

関西新人演奏会

(Vo) 森 牧子

(Vn) 山本絵理

5月12日(木)

厚生年金中ホール

オルガン新人演奏会

(Or) 追中宏美

4月29日(金)

新宿文化センター

兵庫県新人演奏会

(P) 濱田 章

(Tb) 南 桂子

4月16日(土) 17日(日)

兵庫県民小劇場

会員の皆様へお願い

住所変更された場合は、必ず左記へお届け下さい。

336-1111 橋本美子

一九九四年度会費千円を五月末までにお振り込みください。ただし、102回以後卒業時に十年分の会費を前納された方を除きます。

本年度役員

会長 67岡田晴美

77浜崎弘子(新)77小林郁子

(新)78菅 靖子(新)78橋本美子

79弘岡基子 81森 文代

84山口滋子(新)84岩津素子

85苗村紀子 85今城信子

会計監査

89久保章子 87足立真知子

編集後記

皆様お元気ででしょうか。年一回のファンタジーだよりをお届けします。原稿依頼から編集作業まで役員一同慣れない仕事ですが一生けんめい作りました。楽しくお読みいただけただでしょうか。これからもさらにきめ細かな情報をお伝えしていきたいと思っております。皆様のご意見、ご要望をぜひお寄せ下さい。お待ちしております。

平成6年度クラス委員

51	小加藤	西上村	芳泰	子江	73	内奥	田村	子美	93	弓場	子子
52	加藤	上村	泰	江	74	奥	村	子子	94	廣	子子
53	藤	村	俊	鈴	75	筆	谷	子子	95	孝	子子
54	土	居	敏	子	76	山	室	子子	96	治	子子
55	浅	海		子	77	中	尾	子子	97	須	子子
56	藤			子	78	島	川	子子	98	雅	子子
57	原	田	華	子	79	梶	川	子子	99	万	子子
58	廣	倍	幸	子	80	黒	川	子子	100	伸	子子
59	高	津	澄	子	81	森	地	子子	101	典	子子
60	高	村	幸	子	82	興	磨	子子	102	昭	子子
61	山	田	閑	子	83	播	宅	子子	103	裕	子子
62	下	丹	静	子	84	三	村	子子	104	理	子子
63	伊	尾	房	子	85	苗	内	子子	105	多	子子
64	飯	谷	尚	子	86	横	井	子子	106	佳	子子
65	熊	田	素	子	87	大	保	子子	107	司	子子
66	深	田	道	子	88	高	永	子子	108	治	子子
67	福	田	玲	子	89	久	山	子子	109	純	子子
68	三	田	玲	子	90	岩	内	子子	110	美	子子
69	清	竹	玲	子	91	大	山	子子	111	和	子子
70	下	水	子	子	92	東	東	子子			
71	魚	瀨	子	子				子子			
72		住	子	子				子子			